

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	人間総合科学大学
設置者名	学校法人 早稲田医療学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
人間科学部	心身健康科学科	夜・ <u>通信</u>	0	0	75	75	13	0
	健康栄養学科	夜・通信		0	47	47	13	0
	ヘルスフードサイエンス学科	夜・通信			27	27	13	0
保健医療学部	看護学科	夜・通信		0	101	101	13	0
	リハビリテーション学科理学療法学専攻	夜・通信			96	96	13	0
	リハビリテーション学科義肢装具学専攻	夜・通信			74	74	13	0
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

『授業計画書(シラバス)』をインターネット上で公開。“実務経験のある教員による授業科目”での抽出を可能としている。 本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/syllabus_view/index.php">https://www.human.ac.jp/syllabus_view/index.php</a> )
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	人間総合科学大学
設置者名	学校法人 早稲田医療学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ (<https://www.human.ac.jp/corp/summary/index.html?tab=1>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	産業医	平成30年5月29日～ 令和3年5月28日	労務安全衛生
非常勤	協会理事長	平成30年5月29日～ 令和3年5月28日	教育研究
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	人間総合科学大学
設置者名	学校法人 早稲田医療学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
『授業計画書(シラバス)』は Web を利用したシステムにより、作成から公開を行っている。	
『授業計画書』の作成過程、作成・公表時期については以下の通りである。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の秋頃、学部長名にて『授業計画書』の作成要領を全教員に配布し、直接 Web システムへの更新を依頼する。</li> <li>・更新された『授業計画書』については、まず、事務局担当者が作成要領に照らして確認し、最終的に各学科長、学部長が確認を行う。</li> <li>・公開は新年度開始の 4 月 1 日迄に行う。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/syllabus_view/index.php">https://www.human.ac.jp/syllabus_view/index.php</a> )
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
全学共通の成績評価の方法・基準については『学則』に定めるとともに、『学生便覧』にて学生に明示している。また、全ての科目の『授業計画書(シラバス)』に、「評価方法・基準」を明記し、その内容に基づいて評価を行っている。	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GPAの算出方法は以下の通りとしている。</li> <li>・ 学期 GPA の計算式  <math display="block">\text{学期 GPA} = \{ (\text{当該学期の評価 S の単位数合計} \times 4) + (\text{当該学期の評価 A の単位数合計} \times 3) + (\text{当該学期の評価 B の単位数合計} \times 2) + (\text{当該学期の評価 C の単位数合計} \times 1) \} / \text{当該学期の総履修登録単位数}</math> </li> <li>・ 累積 GPA の計算式  <math display="block">\text{累積 GPA} = \{ (\text{全在学期間の評価 S の単位数合計} \times 4) + (\text{全在学期間の評価 A の単位数合計} \times 3) + (\text{全在学期間の評価 B の単位数合計} \times 2) + (\text{全在学期間の評価 C の単位数合計} \times 1) \} / \text{全在学期間の総履修登録単位数}</math> </li> <li>・ 上記計算式に基づき GPA を算出し、学習指導等に活用している。</li> </ul>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>『学生便覧』、本学ホームページ  <a href="https://www.human.ac.jp/cm/strict-operation.html">https://www.human.ac.jp/cm/strict-operation.html</a></p>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【人間科学部ディプロマポリシー】

人間科学部・通信教育課程では、『建学の精神』に則り「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、未来を切り拓く自己決定能力と勇気を持ち、自立と共生の力をもって、心身ともに健康で豊かに暮らすことができる社会の構築に向け、活力あふれる創造力と豊かな人間性をもって貢献する意欲を持つ学生に学位を授与します。

【人間科学部心身健康科学科ディプロマポリシー】

心身健康科学科では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 人間と社会の諸側面について学際的・総合的で幅広い知識を身につけている。
2. 自らの思考・選択・判断の過程を説明し伝達するためのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力と、自ら学びを深める自己教育力を持っている。
3. 現代社会と今を生きる人間に深い関心を持ち、新しい展望と視座に立って、創造力・洞察力を持って、心身ともに健康で豊かに暮らすことができる社会の構築という現代の科学的・社会的要請に対して応えようとする意欲と能力がある。

基礎科目			1 単位以上
専門科目	コア科目	10 単位以上	
	分野別科目	統合Ⅰ	8 単位以上
		統合Ⅱ	8 単位以上
		統合Ⅲ	8 単位以上
		統合Ⅳ	2 単位以上
総合演習	8 単位以上		
合計	124 単位以上		

【人間科学部健康栄養学科ディプロマポリシー】

健康栄養学科では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 人間と社会の諸側面について学際的・総合的で幅広い知識を身につけている。
2. 「食」が身体の健康だけではなく心理的・社会的・文化的側面と密接に関わっていることを理解している。(知識・理解・態度)
3. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身に付けており、保健・医療・福祉・介護・教育などの分野における「栄養・食」の支援ができる。(知識・汎用的技能)
4. 管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーション能力を身に付けている。(汎用的技能)
5. 変容する社会における多様な健康問題に対応すべく生涯学び続ける意思をもち、栄養学の発展に寄与することができる。(態度・志向性)

基礎分野	27 単位以上
専門基礎分野	44 単位以上
専門分野	52 単位以上
合計	130 単位以上

**【人間科学部ヘルスフードサイエンス学科ディプロマポリシー】**

ヘルスフードサイエンス学科では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 人間と社会の諸側面について学際的・総合的で幅広い知識を身につけている。
2. 「食」が身体健康だけでなく心理的・社会的・文化的側面と密接に関わっていることを理解している。(知識・理解・態度)
3. 現代社会で活躍できる専門知識と技能を身に付けており、保健・医療・福祉・介護・教育などの分野における「栄養・食」の支援ができる。(知識・汎用的技能)
4. 食と栄養のゼネラリストとして、多様な職種、地域の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーション能力を身に付けている。(汎用的技能)
5. 変容する社会における多様な健康問題に対応すべく生涯学び続ける意思をもち、栄養学の発展に寄与することができる。(態度・志向性)
6. 学生の進路に応じて下記の専門分野について十分な理解を得ている。  
「グローバルフードビジネス分野」「ヘルスフードサイエンス分野」「フードマネジメント分野」

基礎分野	31 単位以上
専門基礎分野	34 単位以上
専門分野	35 単位以上
合計	130 単位以上

**【保健医療学部ディプロマポリシー】**

人間総合科学大学『建学の精神』に則り、保健医療学部では、所定の課程を修了することに加え、以下の要件を満たす者に学位を授与します。

1. 知識・技能  
医療職としての十分な専門知識と、安全安心に関する技能を有し、かつ、統合的な人間理解の上で、他者への思いやりの態度を持ち、また関連職種と協働できるコミュニケーションスキルを有しています。
2. 態度・志向性  
倫理的考えを持ち、医療に携わる人として望ましい基本的姿勢を有し、かつ、自らの学習成果を、社会に還元しようとする積極性を有しています。
3. 総合的な学習経験と創造的思考力  
自らの学修成果を生かし、生涯にわたって主体的な学びを続ける自己学習力を有し、指導的立場で健康社会への貢献、国際社会へ寄与しようとする意欲を有しています。

**【保健医療学部看護学科ディプロマポリシー】**

看護学科では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 「看護」を必要とする対象者とその家族に対して、専門職としての知識・技術を持ち、心理的・社会的・文化的側面から人々を多面的・総合的に理解し、問題を解決できる。(知識・理解・文化・社会・自然)
2. 「看護」を科学的根拠に基づいて実践できる基本的知識と技術を、保健・医療・福祉・介護・教育などの分野において汎用でき、対象者および他の専門職と円滑にコミュニケーションをとり健康・障害・回復・予防・死への安全で安楽な質の高い支援ができる。(コミュニケーションスキル・判断力・問題解決能力)

3. 看護職として、人間の尊厳を守り高い倫理観に基づき、他の専門職と連携・協働できる力を発揮できる。（態度・志向性・社会的責任・チームワーク・自己管理能力・倫理観）
4. 看護職として看護の質の向上へ向け、グローバルな視点を持ち社会の変化と進展に伴う多様な健康課題に対応し、生涯にわたり自ら学び続ける素養と意志で看護学の発展に寄与することができる。（総合的な学習経験・創造的思考力）

本学科の卒業要件は以下の通りとなっています。（ ）内は保健師選択コースの場合

基礎分野	19 (16) 単位以上
専門基礎分野	30 (30) 単位以上
専門分野	79 (86) 単位以上
合計	128 (132) 単位以上

**【保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻ディプロマポリシー】**

リハビリテーション学科理学療法学専攻では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 「理学療法」を必要とする対象者とその家族に対して、専門職として知識・技術とともに心理的・社会的・文化的側面から多面的・総合的に理解し、問題を解決できる。（知識・理解・文化・社会・自然）
2. 「理学療法」を科学的な根拠に基づいて基本的な専門知識と技能を、保健・医療・福祉・介護・教育などの分野において汎用でき、対象者と専門職とのコミュニケーションが可能であり、「障害からの回復・予防」に安全で質の高い支援ができる。（コミュニケーションスキル・数量的スキル・問題解決能力）
3. 理学療法士として、倫理観を持ち人々および地域との円滑な連携において他専門職と協業できる力を発揮でき、さらに生涯を通じて自らの能力を成長させる素養を持っている。（態度・志向性・社会的責任・チームワーク・自己管理能力・倫理感）
4. 理学療法士として、変容する社会とグローバル社会の進展における多様な健康問題に対応するため、さらに理学療法の質を向上させるために、自ら生涯学び続ける素養と意志をもち、理学療法学の発展に寄与することができる。（総合的な学習経験・創造的思考力）

基礎分野	14 単位以上
専門基礎分野	36 単位以上
専門分野	74 単位以上
合計	124 単位以上

**【保健医療学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻ディプロマポリシー】**

リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 「義肢装具」を必要とする対象者とその家族に対して、専門職として知識・技術とともに心理的・社会的・文化的側面から多面的・総合的に理解し、問題を解決できる。（知識・理解・文化・社会・自然）
2. 「義肢装具」を科学的な根拠に基づいて基本的な専門知識と技能を、保健・医療・福祉・介護・教育などの分野において汎用でき、対象者と専門職とのコミュニケーションが可能であり、「障害からの回復・予防」に安全で質の高い支援ができる。（コミュニケーションスキル・数量的スキル・問題解決能力）

3. 義肢装具士として、倫理観を持ち人々および地域との円滑な連携において他専門職と協業できる力を発揮でき、さらに生涯を通じて自らの能力を成長させる素養を持っている。(態度・志向性・社会的責任・チームワーク・自己管理能力・倫理感)
4. 義肢装具士として、変容する社会とグローバル社会の進展における多様な健康問題に対応するため、さらに義肢装具の質を向上させるために、自ら生涯学び続ける素養と意志をもち、義肢装具学の発展に寄与することができる。(総合的な学習経験・創造的思考力)

基礎分野	14 単位以上
専門基礎分野	44 単位以上
専門分野	66 単位以上
合計	124 単位以上

全ての学科・専攻にて、上記方針に基づき、卒業判定を行っている。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/cm/3policies.html">https://www.human.ac.jp/cm/3policies.html</a> )
----------------------	---



様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	人間総合科学大学
設置者名	学校法人 早稲田医療学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/corp/information/index.html?tab=0">https://www.human.ac.jp/corp/information/index.html?tab=0</a> )
収支計算書又は損益計算書	本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/corp/information/index.html?tab=0">https://www.human.ac.jp/corp/information/index.html?tab=0</a> )
財産目録	本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/corp/information/index.html?tab=0">https://www.human.ac.jp/corp/information/index.html?tab=0</a> )
事業報告書	本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/corp/information/index.html?tab=0">https://www.human.ac.jp/corp/information/index.html?tab=0</a> )
監事による監査報告(書)	本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/corp/information/index.html?tab=0">https://www.human.ac.jp/corp/information/index.html?tab=0</a> )

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/cm/jihee.html">https://www.human.ac.jp/cm/jihee.html</a> )
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/cm/jihee.html">https://www.human.ac.jp/cm/jihee.html</a> )
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間科学部心身健康科学科																									
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/hs/feature.html">https://www.human.ac.jp/hs/feature.html</a> )）																									
<p>(概要)</p> <p>心身健康科学科では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から、人間を総合的に理解し、心身ともに健康で豊かに暮らせる社会構築を支援できる人材を養成することを目的とします。</p>																									
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/hs/feature.html">https://www.human.ac.jp/hs/feature.html</a> )）																									
<p>(概要)</p> <p>心身健康科学科では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間と社会の諸側面について学際的・総合的で幅広い知識を身につけている。</li> <li>2. 自らの思考・選択・判断の過程を説明し伝達するためのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力と、自ら学びを深める自己教育力を持っている。</li> <li>3. 現代社会と今を生きる人間に深い関心を持ち、新しい展望と視座に立って、創造力・洞察力を持って、心身ともに健康で豊かに暮らすことができる社会の構築という現代の科学的・社会的要請に対して応えようとする意欲と能力がある。</li> </ol>																									
<table border="1"> <tr> <td>基礎科目</td> <td colspan="2"></td> <td>1 単位以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">専門科目</td> <td colspan="2">コア科目</td> <td>10 単位以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">分野別科目</td> <td>統合Ⅰ</td> <td>8 単位以上</td> </tr> <tr> <td>統合Ⅱ</td> <td>8 単位以上</td> </tr> <tr> <td>統合Ⅲ</td> <td>8 単位以上</td> </tr> <tr> <td>統合Ⅳ</td> <td>2 単位以上</td> </tr> <tr> <td colspan="2">総合演習</td> <td>8 単位以上</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2"></td> <td>124 単位以上</td> </tr> </table>		基礎科目			1 単位以上	専門科目	コア科目		10 単位以上	分野別科目	統合Ⅰ	8 単位以上	統合Ⅱ	8 単位以上	統合Ⅲ	8 単位以上	統合Ⅳ	2 単位以上	総合演習		8 単位以上	合計			124 単位以上
基礎科目			1 単位以上																						
専門科目	コア科目		10 単位以上																						
	分野別科目	統合Ⅰ	8 単位以上																						
		統合Ⅱ	8 単位以上																						
		統合Ⅲ	8 単位以上																						
		統合Ⅳ	2 単位以上																						
総合演習		8 単位以上																							
合計			124 単位以上																						
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/hs/feature.html">https://www.human.ac.jp/hs/feature.html</a> )）																									
<p>(概要)</p> <p>心身健康科学科では、「建学の精神」のもと、その教育目的達成のための教育課程編成として、全学共通の「コア科目」、『分野別科目（【統合Ⅰ「こころ」と「からだ」のつながり】、【統合Ⅱ「生命と健康」のシステム】、【統合Ⅲ「文化・社会」の継承】、【統合Ⅳ「人間の未来学」】）』を配置し、人間を総合的に理解する集大成として「総合演習」を必修としています。</p> <p>また、養護教諭養成コースでは、養護教諭一種免許状の取得を、看護教員養成コースでは、看護師・保健師養成所の専任教員資格の取得を目的とした教育課程を設置しています。</p>																									
入学者の受入れに関する方針（公表方法：『募集要項』、本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/hs/admission.html">https://www.human.ac.jp/hs/admission.html</a> )）																									
<p>(概要)</p> <p>「建学の精神」にあるように、複雑化・多様化する現代社会における諸課題を理解し解決するためには、既存の文化・社会的成果を継承しつつ、さらに広い視野から人間や生命及び社会や文化を学際的・統合的に探究することが必要です。</p> <p>そのために学部のアドミッション・ポリシーのもと、人間の総合的・科学的な探究を通し</p>																									

て、生きる力となる真の「教養」を身につけ、自らの力で主体的に人生を切り拓いて、人間性豊かな社会の実現を目指し、人々の健康と幸福に貢献しようとする意欲ある学生を広く求めます。

学部等名 人間科学部健康栄養学科

教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/rd/feature.html>)

(概要)  
健康栄養学科では、人間の生活と「栄養・食」とのかかわりを科学的・統合的視点から追求し、現代の保健医療サービスに対応できる人材を養成することを目的とします。

卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/rd/feature.html>)

(概要)  
健康栄養学科では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 人間と社会の諸側面について学際的・総合的で幅広い知識を身につけている。
2. 「食」が身体健康だけでなく心理的・社会的・文化的側面と密接に関わっていることを理解している。（知識・理解・態度）
3. 現代社会で活躍できる管理栄養士としての専門知識と技能を身に付けており、保健・医療・福祉・介護・教育などの分野における「栄養・食」の支援ができる。（知識・汎用的技能）
4. 管理栄養士として他職種の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーション能力を身に付けている。（汎用的技能）
5. 変容する社会における多様な健康問題に対応すべく生涯学び続ける意思をもち、栄養学の発展に寄与することができる。（態度・志向性）

基礎分野	27 単位以上
専門基礎分野	44 単位以上
専門分野	52 単位以上
合計	130 単位以上

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/rd/feature.html>)

(概要)  
健康栄養学科では、「建学の精神」のもと、その教育目的達成のための教育課程として、人間を学際的に総合して科学的に探究するための「コア科目」群を配置した『基礎分野』の他、栄養士法に示された「栄養・食」の専門家としての高度な知識・技術の修得や人間理解の力を養う科目を設置した『専門基礎分野』及び『専門分野』を体系的に編成しています。  
本学を卒業すると、栄養士資格及び管理栄養士国家試験受験資格が得られるカリキュラムとしています。また、栄養教諭一種免許状取得を目的とした教育課程を設置しています。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：『募集要項』、本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/ad/admission.html>)

(概要)  
人間科学部のアドミッションポリシーのもと、人々の健康の維持・増進や現代の生活習慣病の予防を目的に、「食」と「栄養」の幅広い知識・技術を修得し、人々の健康と幸福に寄与する「管理栄養士養成」を行います。そのためにライセンス取得だけを目的とするの

ではなく、ライセンスを社会でどう活かすかという動機やアイデアを持つ、次のような意欲ある人を求めます。

1. 管理栄養士への強い希望と熱意があり、行動力と実行力を持つ人
2. 関連する専門家を目指す仲間とチームとして力を発揮・協力できる人
3. 他者に対して関心と思いやりの心を持ち、人のために行動できる人
4. 人の話をよく理解し、自分の思いや考えを伝えることができる人
5. 目標に向かう強い探求心を持ち、自ら学ぶことができる自律した人
6. 常に管理栄養の専門性を意識し、先輩、友人、後輩と共に一生を通じて成長し続ける人

学部等名 人間科学部ヘルスフードサイエンス学科

教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ

(<https://www.human.ac.jp/hf/feature.html>)

（概要）

ヘルスフードサイエンス学科では、人間の総合的・科学的な理解と「食・栄養」について幅広く学び、食の安全・安心、リスク管理と国際的な食のマネジメントの総合的な知識と技術を身につけた人材を養成することを目的とします。

卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ

(<https://www.human.ac.jp/hf/feature.html>)

（概要）

ヘルスフードサイエンス学科では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 人間と社会の諸側面について学際的・総合的で幅広い知識を身につけている。
2. 「食」が身体健康だけでなく心理的・社会的・文化的側面と密接に関わっていることを理解している。（知識・理解・態度）
3. 現代社会で活躍できる専門知識と技能を身に付けており、保健・医療・福祉・介護・教育などの分野における「栄養・食」の支援ができる。（知識・汎用的技能）
4. 食と栄養のゼネラリストとして、多様な職種、地域の人々との円滑な連携の中で力を発揮できる専門知識とコミュニケーション能力を身に付けている。（汎用的技能）
5. 変容する社会における多様な健康問題に対応すべく生涯学び続ける意思をもち、栄養学の発展に寄与することができる。（態度・志向性）
6. 学生の進路に応じて下記の専門分野について十分な理解を得ている。  
「グローバルフードビジネス分野」「ヘルスフードサイエンス分野」「フードマネジメント分野」

基礎分野	31 単位以上
専門基礎分野	34 単位以上
専門分野	35 単位以上
合計	130 単位以上

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ

(<https://www.human.ac.jp/hf/feature.html>)

（概要）

ヘルスフードサイエンス学科では、その教育目的達成のための教育課程として、①人間を学際的に総合して科学的に探究するための、全学科共通の「コア科目」群を配置した『基礎分野』の他、②「食品・栄養の基礎」「人間理解の基礎」を科学的に学ぶ『専門基礎分野』、③学生の進路ごとに3専攻（「グローバルフードビジネス分野」「ヘルスフードサ

イェンス分野」「フードマネジメント分野」)を配した『専門分野』の、体系的なカリキュラム編成となっています。

特に『専門分野』では、「学生が将来の進路に沿って「必修」「選択」「選択必修」を系統的に学ぶこと」で、下記のような「幅広い職業人」となるよう工夫がなされています。

1. グローバルフードビジネス分野

国際基準の食のリスク・安全管理の分野で活躍する人材養成のための教育プログラムを提供します。

2. ヘルスフードサイエンス分野

先端食品・食品素材の開発・製造・流通などヘルスフードサイエンスの分野で活躍する人材育成のためのプログラムを提供します。

3. フードマネジメント分野

フードビジネスにおいて、食のトータルコーディネーターを行う実践力として、料理・調理の専門技術から、和食・洋食・中華など幅広いジャンルの食文化や地域特性や食環境などを考慮して、食のビジネスを推進するためのプログラムを提供します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：『募集要項』、本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/ad/admission.html>)

(概要)

人間科学部のアドミッションポリシーのもと、人間総合科学の視点から、「食」と「栄養」について幅広く学び、バイオテクノロジーや生命科学を基本に食育から食の安全・安心、食・食材のリスク管理や総合マネジメントまでの総合的な知識と技術を身につけます。

そのための強い動機とアイデアを持つ、次のような人を求めます。

1. 食と栄養に対する強い関心と共にその科学的側面に対する探究心を持ち、学ぶために必要な基礎学力を持つ人
2. グローバルな展開を見せる食の安全・安心についてや、食品・食材の総合マネジメントなど幅広い分野に関心を持つ人
3. 関連する専門家との協働作業、チームとしての働きのできる基礎力を有している人
4. 人とのコミュニケーションを大切にし、他社に対して関心と思いやりの心を持ち、人のために行動できる人
5. 食と栄養の幅広い分野で、実践的な知識と技術を身に付ける意欲があり、目標に向かう意志と自ら学ぶことができる自立した人
6. 将来、食や栄養に関する専門的な知識や技術を生かし、食に係る行政・衛生・保健・福祉・教育分野及び企業において、人々の健康と生命の質の向上に貢献したいと考える人
7. 高い教養と倫理観をもって広い国際性を身に付けて社会で活躍する意思を持つ人

学部等名 保健医療学部看護学科

教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/ns/feature.html>)

(概要)

看護学科では、人間を多面的・総合的に理解し、また倫理的な態度をもって適切な人間関係を築くことができる能力、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を習得し、安全で質の高い看護を実践できる能力、社会制度をふまえて、保健・医療・福祉分野の専門職間および地域との連携・協働のできる能力、人々の生活文化・価値観を尊重し、健康の維持・増進、疾病の予防への支援ができる能力、看護の質を向上させるとともに、グローバル社会の進展も見据え継続して自己学習できる能力を養うことを目的とします。

卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/ns/feature.html>)

(概要)

看護学科では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 「看護」を必要とする対象者とその家族に対して、専門職としての知識・技術を持ち、心理的・社会的・文化的側面から人々を多面的・総合的に理解し、問題を解決できる。(知識・理解・文化・社会・自然)
2. 「看護」を科学的根拠に基づいて実践できる基本的知識と技術を、保健・医療・福祉・介護・教育などの分野において汎用でき、対象者および他の専門職と円滑にコミュニケーションをとり健康・障害・回復・予防・死への安全で安楽な質の高い支援ができる。(コミュニケーションスキル・判断力・問題解決能力)
3. 看護職として、人間の尊厳を守り高い倫理観に基づき、他の専門職と連携・協働できる力を発揮できる。(態度・志向性・社会的責任・チームワーク・自己管理能力・倫理観)
4. 看護職として看護の質の向上へ向け、グローバルな視点を持ち社会の変化と進展に伴う多様な健康課題に対応し、生涯にわたり自ら学び続ける素養と意志で看護学の発展に寄与することができる。(総合的な学習経験・創造的思考力)

本学科の卒業要件は以下の通りとなっています。( )内は保健師選択コースの場合

基礎分野	19 (16) 単位以上
専門基礎分野	30 (30) 単位以上
専門分野	79 (86) 単位以上
合計	128 (132) 単位以上

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/ns/feature.html>))

(概要)

看護学科では、「建学の精神」のもと、人間を多面的・総合的に理解し、また倫理的な態度をもって適切な人間関係を築くことができる能力、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を習得し、安全で質の高い看護を実践できる能力、看護の質を向上させるとともに、グローバル社会の進展も見据えて継続して自己学習できる能力を養うことを目的としています。

その教育目的達成のための教育課程として、人間を学際的に総合して科学的に探究するための「コア科目」群を配置した『基礎分野』の他、保健師助産師看護師法に示された専門家としての高度な知識・技術の修得や人間理解の力を養う科目を設置した『専門基礎分野』及び『専門分野』を体系的に編成しています。

本学を卒業すると、看護師国家試験受験資格 (選択により保健師国家試験受験資格) が得られるカリキュラムとしています。

入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 『募集要項』、本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/ad/admission.html>))

(概要)

保健医療学部のアドミッションポリシーのもと、多様な人々との連携・協働において、看護臨床および専門職としての役割を明確にすることができ、さらに人々の健康と幸福に寄与するために科学的思考力と国際的視野をもって、保健・医療・福祉・健康の領域において幅広く活躍できる看護専門職を育成するため、次のような人を求めます。

1. 看護師への熱い希望と熱意があり、行動力と実行力をもつ人
2. 看護に関する学習だけではなく、人間・社会・環境に対する興味・関心がある人
3. 他者に対して思いやりのこころを持ち、人のために行動できる人

- 4. 人の話をよく理解し、自分の思いや考えを伝えることができる人
- 5. 目標に向かう強い探求心を持ち、協働して自ら学ぶことができる人
- 6. 看護職として社会に貢献する意欲のある人

学部等名 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻

教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ

(<https://www.human.ac.jp/pt/feature.htm>) )

(概要)

リハビリテーション学科理学療法学専攻では、人間を多面的・総合的に理解し、また倫理的な態度をもって適切な人間関係を築くことができる能力、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を習得し、安全で質の高い理学療法を实践できる能力、社会制度をふまえ、保健・医療・福祉分野の専門職間および地域との連携・協働のできる能力、機能障害により生活機能が損なわれている人と家族をサポートし、その自立支援を行う能力、理学療法の質を向上させるとともに、グローバル社会の進展も見据え継続して自己学習できる能力を養うことを目的とします。

卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ

(<https://www.human.ac.jp/pt/feature.htm>) )

(概要)

リハビリテーション学科理学療法学専攻では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 「理学療法」を必要とする対象者とその家族に対して、専門職として知識・技術とともに心理的・社会的・文化的側面から多面的・総合的に理解し、問題を解決できる。（知識・理解・文化・社会・自然）
2. 「理学療法」を科学的な根拠に基づいて基本的な専門知識と技能を、保健・医療・福祉・介護・教育などの分野において汎用でき、対象者と専門職とのコミュニケーションが可能であり、「障害からの回復・予防」に安全で質の高い支援ができる。（コミュニケーションスキル・数量的スキル・問題解決能力）
3. 理学療法士として、倫理観を持ち人々および地域との円滑な連携において他専門職と協業できる力を発揮でき、さらに生涯を通じて自らの能力を成長させる素養を持っている。（態度・志向性・社会的責任・チームワーク・自己管理能力・倫理感）
4. 理学療法士として、変容する社会とグローバル社会の進展における多様な健康問題に対応するため、さらに理学療法の質を向上させるために、自ら生涯学び続ける素養と意志をもち、理学療法学の発展に寄与することができる。（総合的な学習経験・創造的思考力）

基礎分野	14 単位以上
専門基礎分野	36 単位以上
専門分野	74 単位以上
合計	124 単位以上

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ

(<https://www.human.ac.jp/pt/feature.htm>) )

(概要)

リハビリテーション学科理学療法学専攻では、「建学の精神」のもと、人間を多面的・総合的に理解し、また倫理的な態度をもって適切な人間関係を築くことができる能力、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を習得し、安全で質の高い理学療法を实践できる能力、理学療法の質を向上させるとともに、グローバル社会の進展も見据え継続して自己学習できる能力を養うことを目的としています。

その教育目的達成のための教育課程として、人間を学際的に総合して科学的に探究するための「コア科目」群を配置した『基礎分野』の他、理学療法士及び作業療法士法に示された専門家としての高度な知識・技術の修得や人間理解の力を養う科目を設置した『専門基礎分野』及び『専門分野』を体系的に編成しています。

本学を卒業すると、理学療法士国家試験受験資格が得られるカリキュラムとしています。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：『募集要項』、本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/ad/admission.html>)

（概要）

保健医療学部のアドミッションポリシーのもと、多様な人々との連携・協働において、理学療法の専門性を活かし、その役割を明確にすることができ、さらに人々の健康と幸福に寄与するために科学的思考力と国際的視野をもって、保健・医療・福祉・健康の領域において幅広く活躍できる理学療法専門職を育成するため、次のような人を求めます。

1. 理学療法士への強い希望と熱意があり、行動力と実行力を持つ人
2. 関連する専門家を目指す仲間とチームとして力を発揮・協力できる人
3. 他者に対して関心と思いやりの心を持ち、人のために行動できる人
4. 人の話をよく理解し、自分の思いや考えを伝えることができる人
5. 目標に向かう強い探求心を持ち、自ら学ぶことができる自律した人
6. 常に理学療法専門職を意識し、先輩、友人、後輩と共に一生を通じて成長し続ける人

学部等名 保健医療学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻

教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/po/feature.html>)

（概要）

保健医療学部は、保健医療専門職者として高い倫理観と使命感を持ち、高度な専門知識に基づく確かな技術を実践するとともに、心身健康科学をはじめとした総合的な人間理解のもと、さまざまな関連職者と連携し、広く社会に貢献できる活力ある人材を養成することを目的とします。

卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/po/feature.html>)



(概要)

リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「こころ」「からだ」「文化」の側面から人間を総合的に理解し、「自立と共生」「創造力と人間性」という教育理念に即した以下に掲げる能力を持った学生に学位を授与します。

1. 「義肢装具」を必要とする対象者とその家族に対して、専門職として知識・技術とともに心理的・社会的・文化的側面から多面的・総合的に理解し、問題を解決できる。(知識・理解・文化・社会・自然)
2. 「義肢装具」を科学的な根拠に基づいて基本的な専門知識と技能を、保健・医療・福祉・介護・教育などの分野において汎用でき、対象者と専門職とのコミュニケーションが可能であり、「障害からの回復・予防」に安全で質の高い支援ができる。(コミュニケーションスキル・数量的スキル・問題解決能力)
3. 義肢装具士として、倫理観を持ち人々および地域との円滑な連携において他専門職と協業できる力を発揮でき、さらに生涯を通じて自らの能力を成長させる素養を持っている。(態度・志向性・社会的責任・チームワーク・自己管理能力・倫理感)
4. 義肢装具士として、変容する社会とグローバル社会の進展における多様な健康問題に対応するため、さらに義肢装具の質を向上させるために、自ら生涯学び続ける素養と意志をもち、義肢装具学の発展に寄与することができる。(総合的な学習経験・創造的思考力)

基礎分野	14 単位以上
専門基礎分野	44 単位以上
専門分野	66 単位以上
合計	124 単位以上

教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: 本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/po/feature.html>))

(概要)

リハビリテーション学科義肢装具学専攻では、「建学の精神」のもと、人間を多面的・総合的に理解し、また倫理的な態度をもって適切な人間関係を築くことができる能力、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を習得し、安全で質の高い義肢装具を実践できる能力、義肢装具の質を向上させるとともに、グローバル社会の進展も見据え継続して自己学習できる能力を養うことを目的としています。

その教育目的達成のための教育課程として、人間を学際的に総合して科学的に探究するための「コア科目」群を配置した『基礎分野』の他、義肢装具士法に示された専門家としての高度な知識・技術の修得や人間理解の力を養う科目を設置した『専門基礎分野』及び『専門分野』を体系的に編成しています。

本学を卒業すると、義肢装具士国家試験受験資格が得られるカリキュラムとしています。

入学者の受入れに関する方針 (公表方法: 『募集要項』、本学ホームページ  
(<https://www.human.ac.jp/ad/admission.html>))

(概要)

保健医療学部のアドミッション・ポリシーのもと、多様な人々との連携・協働において、義肢装具の専門性を活かし、その役割を明確にすることができ、さらに人々の健康と幸福に寄与するために科学的思考力と国際的視野をもって、保健・医療・福祉・健康の領域において幅広く活躍できる義肢装具専門職を育成するため、次のような意欲のある人を求めます。

1. 義肢装具士への強い希望と熱意があり、行動力と実行力を持つ人
2. 関連する専門家を目指す仲間とチームとして力を発揮・協力できる人
3. 他者に対して関心と思いやりの心を持ち、人のために行動できる人
4. 人の話をよく理解し、自分の思いや考えを伝えることができる人

5. 目標に向かう強い探求心を持ち、自ら学ぶことができる自律した人  
 6. 常に義肢装具専門職を意識し、先輩、友人、後輩と共に一生を通じて成長し続ける人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：本学ホームページ  
 (<https://www.human.ac.jp/corp/disclosure/index.html>)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
人間科学部	—	20人	4人	9人	8人	3人	44人
保健医療学部	—	15人	8人	12人	4人	0人	39人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		127人					127人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：本学ホームページ 人間科学部心身健康科学科（通信課程） ( <a href="https://www.human.ac.jp/hs/teachers.html">https://www.human.ac.jp/hs/teachers.html</a> ) 人間科学部健康栄養学科 ( <a href="https://www.human.ac.jp/rd/teachers.html">https://www.human.ac.jp/rd/teachers.html</a> ) 人間科学部ヘルスフードサイエンス学科 ( <a href="https://www.human.ac.jp/hf/teachers.html">https://www.human.ac.jp/hf/teachers.html</a> ) 保健医療学部看護学科 ( <a href="https://www.human.ac.jp/ns/teachers.html">https://www.human.ac.jp/ns/teachers.html</a> ) 保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 ( <a href="https://www.human.ac.jp/pt/teachers.html">https://www.human.ac.jp/pt/teachers.html</a> ) 保健医療学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻 ( <a href="https://www.human.ac.jp/po/teachers.html">https://www.human.ac.jp/po/teachers.html</a> )					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間科学部	160人	94人	58.8%	560人	334人	59.6%	—人	—人
人間科学部 （通信課程）	500人	133人	26.6%	2,500人	1,015人	40.6%	0人	127人
保健医療学部	150人	162人	108.0%	600人	607人	101.2%	—人	—人
合計	810人	389人	48.0%	3660人	1956人	53.4%	0人	127人

(備考)

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間科学部	77人 (100%)	1人 (1.3%)	74人 (96.1%)	2人 (2.6%)
保健医療学部	116人 (100%)	1人 (0.9%)	111人 (95.7%)	4人 (3.4%)
合計	193人 (100%)	2人 (1.0%)	185人 (95.9%)	6人 (3.1%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

(備考) 人間科学部の心身健康科学科は通信制課程であり、入学者の殆どが有職者であるため、上記人間科学部の人数には含めていない。

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>『授業計画書 (シラバス) 』は Web を利用したシステムにより、作成から公開を行っている。</p> <p>『授業計画書』の作成過程、作成・公表時期については以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の秋頃、学部長名にて『授業計画書』の作成要領を全教員に配布し、直接 Web システムへの更新を依頼する。</li> <li>・更新された『授業計画書』については、まず、事務局担当者が作成要領に照らして確認し、最終的に各学科長、学部長が確認を行う。</li> <li>・公開は新年度開始の 4 月 1 日迄に行う。</li> </ul>
---

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 全学共通の成績評価の方法・基準については『学則』に定めるとともに、『学生便覧』にて学生に明示している。また、全ての科目の『授業計画書(シラバス)』に、「評価方法・基準」を記載し、その内容に基づいて評価を行っている。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間科学部	心身健康科学科 (通信課程)	124 単位	有・無	単位
	健康栄養学科	130 単位	有・無	単位
	ヘルスフードサイ エンス学科	130 単位	有・無	単位
保健医療学部	看護学科	128 単位 保健師選択コースは 132 単位	有・無	単位
	リハビリテーショ ン学科	124 単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法:『大学案内』、本学ホームページ(<https://www.human.ac.jp/cm/campus-index.html>)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
人間科学部	心身健康科学科 (通信課程)	280,000 円	30,000 円	10,000 円	システム管理・維持費 ※教科書代は学生個々に異なるため、左記には含めず。
	健康栄養学科	950,000 円	300,000 円	330,000 円 2 年次以降 400,000 円	施設維持費、実験・実習費、交友会費(初年次のみ) ※教科書代、白衣代、保険料等は学生個々に異なるため、左記に含めず。
	ヘルスフードサイ エンス学科	950,000 円	300,000 円	380,000 円 2 年次以降 350,000 円	施設維持費、実験・実習費、交友会費(初年次のみ) ※教科書代、白衣代、保険料等は学生個々に異なるため、左記に含めず。
保健医療学部	看護学科	1,000,000 円	300,000 円	530,000 円 2 年次以降 600,000 円	施設維持費、実験・実習費、交友会費(初年次のみ) ※教科書代、白衣代、保険料等は学生個々に異なるため、左記に含めず。
	リハビリテー ション学 科理学療法 学専攻	1,000,000 円	300,000 円	430,000 円 2 年次以降 600,000 円	施設維持費、実験・実習費、交友会費(初年次のみ) ※教科書代、白衣代、保険料等は学生個々に異なるため、左記に含めず。

					に含めず。
リハビリテーション学科義肢装具学専攻	1,000,000円	300,000円	630,000円 2年次以降 650,000円		施設維持費、実験・実習費、交友会費(初年次のみ) ※教科書代、白衣代、保険料等は学生個々に異なるため、左記に含めず。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、全ての学科・専攻にて担任制を敷き、学修支援にあたっている。また、通学制の学部では、『学修支援ワーキンググループ』が中心となって、各学年の修学状況を共有するとともに、学修支援を計画的に実施している。特に、国家資格等の取得を目指す学部でもあるため、早期の段階から国家試験への対応を計画的に進めている。また、学生にはグループ学習を推奨し、ディスカッションを通して知識の定着を図っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、『就職対策ワーキンググループ』を中心に教職員が一丸となって就職支援を行っている。初年次から4年次迄、学年に応じたガイダンスやセミナー等を開催するとともに、4年次を中心に、個別指導も行っている。また、学科によっては主たる就職先である病院等を招き合同就職説明会を開催している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では、心身の健康等に対する支援として、学生相談室を開室し、学業、将来、対人関係、家族等について、臨床心理士によるカウンセリングを行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページ ( <a href="https://www.human.ac.jp/pr/index.html">https://www.human.ac.jp/pr/index.html</a> )
---